

令和 3 年度

益子町子ども議会会議録

益子町教育委員会・益子町議会

令和3年度益子町子ども議会会議録

－令和3年11月2日（火）14時40分開会

[子ども議会議員]

- ・ 1番 饗庭 簡 (田野小)
- ・ 2番 上野 大貴 (田野小)
- ・ 3番 片岡 日葵 (田野小)
- ・ 4番 高松 郁吹 (田野小)
- ・ 5番 深谷 怜寿 (田野小)
- ・ 6番 藤田 優希菜 (田野小)
- ・ 7番 山内 健照 (田野小) 欠席
- ・ 8番 横田 響 (田野小)
- ・ 9番議長 大根田 陸王 (田野小)

[町執行部]

- ・町長 大塚 朋之
- ・副町長 横田 清泰
- ・教育長 三田 進
- ・総務部長 日下田 純
- ・産業建設部長 池田 浩之
- ・民生部長 河原 平
- ・総務課長 高濱 文夫
- ・税務課長 高濱 具己
- ・建設課長 鮎沢 義則
- ・会計課長 和久 努
- ・観光商工課長 福田 浩一
- ・農政課長 大塚 栄
- ・住民課長 仁平 秀子
- ・環境課長 飯村 正行
- ・学校教育課長 石塚 誠
- ・生涯学習課長 永嶋 祐子
- ・健康福祉課長 櫻井 英樹

[町議会議員]

- ・議長 星野 壽男
 - ・副議長 直井 睦
- [事務局]
- ・事務局長 吉永 有朋

－ 開会 14時40分 －

議長 皆さん、こんにちは。これより、国旗、町旗に対して敬礼を行います。傍聴の方もお願いいたします。礼。おなおりください。開会に先立ち、大塚朋之町長よりご挨拶をいただきます。

大塚町長 皆さんこんにちは。議員の皆さんには、令和3年度益子町子ども議会に出席いただきありがとうございます。また、議員以外の田野小学校の6年生の皆さんも議会傍聴に来てくださり誠にありがとうございます。本日の質問につきましては、教育長、部長、課長より答弁をいたします。私からは、全ての質問終了後に、総括的に話をさせていただきます。初めての議会で緊張もあると思いますが、皆さんにとって思い出深い体験になることを期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。

議長 続きまして、益子町議会議長よりご挨拶をいただきます。

星野議長 皆さん、こんにちは。益子町議会議長の星野と申します。益子町子ども議会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。本日ここに、益子町子ども

議会が開催されますこと、心からお喜び申し上げます。さて、本日は、田野小学校6年生の皆さんが、私たち益子町議員と同じこの場所で、益子町の将来について夢や希望を語り、また身近な疑問について質問するわけでありませう。皆さんの質問内容を拝見いたしますと、非常にすばらしい率直な質問ばかりで、大変感心しているところでございます。日頃から、皆さんがそれぞれの目線で感じていること、考えていることを、この機会に語っていただき、本日の子ども議会を大いに盛り上げていただきたいと思います。この議場は4年に一度選挙が行われ、選ばれた我々16名の議員が町民を代表して、町長さんをはじめ役場の職員皆さんと益子町の事業と予算について議論をする場でございます。良いことについては賛成をし、おかしい箇所があれば意見を改善してもらおうなど、いろいろなことを話し合っている場所でございます。議員から要望したりもしますが、公式の場であり必ずここで決まったことは実行しなければなりませんので、なかなか町長さんは我々議員の要望に対して返事はしてくれません。しかし、今日は皆さんの意見は多分受け入れてくれると思いますので、元気よく、大きな声で発言をしていただきたいと思います。そして、本日の子ども議会をきっかけに、町議会、役場の仕事に興味関心をさらに深めていただきますとともに、郷土の発展のためにご協力いただきますようお願い申し上げます。最後になりますが、子ども議会の皆様、そして、学校関係者の皆様方の今後益々のご活躍とご健勝を心から祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。本日はおめでとうございませう。

議長 ただ今の出席子ども議員数は8名です。7番、山内健照議員より欠席届がありました。本日の子ども議会においては、議場及び傍聴席からの写真・ビデオ撮影等について、これを許可します。なお、議場における撮影等については、教育委員会の職員をもって行います。ただ今から、令和3年度益子町子ども議会を開会いたします。これより、本日の会議を開きます。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により議長において、1番、饗庭簡議員。3番、片岡日葵議員を指名いたします。日程第2、会期の決定を議題といたします。この件につきましては、先の会議において会期日程の決定をしてありますので、子ども議会運営委員会の報告を求めます。子ども議会運営委員長、上野大貴議員。

上野議員 子ども議会運営委員会の報告をいたします。10月25日、午前11時より議場におきまして、令和3年度益子町子ども議会の日程について審議をいたしましたので、その結果をご報告いたします。会期につきましては、本日11月2日の1日限りといたします。日程につきましては、日程第1、会議録署名議員の指名について及び日程第2、会期の決定についてその後、日程第3、行政に関する一般質問を行い、日程第4、子ども議会宣言についてとします。なお、日程の繰り上げ、繰り下げにつきましては、議長の裁量によるものとします。以上、報告を終わります。

議長 子ども議会運営委員会の報告を終わります。確認いたします。ただ今の委員長報告通り、会期を本日1日限りとすることに、ご異議ありませんか。

議員 異議なし。

議長 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りとすることに決しました。日程第3、行政に関する一般質問を行います。1番、饗庭簡議員の一般質問を許可します。

饗庭議員 はい。1番、饗庭簡です。

議長 1番、饗庭簡議員。

饗庭議員 現在、益子町は、新しいカフェやお店、住宅が次々とできて活気にあふれています。古い家もあり歴史も感じます。ただ、最近、人が住んでいない家があり、防犯上、不安を感じることがあります。私の家の近くにも空き家があり、地域の治安の面でも不安を感じます。それに対し、益子町では、空き家・空き地バンクのシステムを活用して対策をしていること、移住、都会との二地域居住、起業等援助されているとホームページなどで知りました。しかし、他自治体では、少子化対策として移住や起業のための補助金を交付しているところがあると聞きました。古い家は、早めに改修することで、趣のある町の資源となると思います。もう一歩すすめた益子町の積極的な関与によって、住みたい場所をつくるという益子町の目標を達成できると思います。未来の益子町を更に発展させるためにも、よろしくお願いします。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 1番、饗庭簡議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

日下田総務 部長 はい。議長。

議長 日下田純総務部長。

日下田総務 部長 饗庭議員のご質問にお答えします。町内の空き家の再活用についてのご質問ですが、益子町でも空き家は年々増加している状況であり、町としましても、空き家となってしまった建物を有効に活用できるよう取り組みを進めているところです。具体的には、町が平成28年11月から開始した「空き家バンク制度」です。この制度は、使用されなくなった町内の空き家や空き店舗、空き地を、町のホームページに掲載することで、空き家などを買いたい方、借りたい方に広く情報を提供しています。この制度を始めてからすでに5年ほどたちますが、これまでに93件の登録があり、そのうち66件が新しい持ち主や借り主の方にご活用いただき、空き家の有効活用に役立っているところです。さて、古い家を改修し、趣のある町の資源とするため、町が積極的に取り組んではどうかというご提案につきましては、空き家のリフォームに必要な費用を補助するという方法があります。これは、直接的に古い家の早期改修につながるということが期待できる一つの方法であると考えます。しかしながら、町としましては、限りある財源を有効に活用していくことも考えていかなければなりませんので、空き家に対する町の取り組みにつきましては、議員のご意見を踏まえながら、空き家の所有者がどのような考えをお持ちな

のか、またどうすれば空き家を減らすことができるか、などを十分に確認しながら、空き家対策としてより効果的な支援策を見つけていきたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

饗庭議員 はい。議長。

議長 1番、饗庭簡議員。

饗庭議員 ご検討ありがとうございます。財源の有効活用ということですが、防犯という面は、早急の解決が必要だと考えます。安心・安全の面でも、町の魅力度という面でもこの課題は、早めに、解決していった方が良く考えます。そこで提案なのですが、この問題を解決するため、募金や寄付金を募ってみてはいかがでしょうか。僕は、益子町が好きです。大好きな益子町がよりよくなるためであれば、協力したいと思っています。僕の他にも、募金や寄付をしてくださる方が、必ずいると思います。ご検討をお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

日下田総務 部長 はい。議長。

議長

議長 日下田総務部長

日下田総務 部長 貴重なご提案ありがとうございます。ご心配をいただいております空き家の防犯対策につきましては、町としてもしっかりと対応をしていかなければなりません。この問題を解決していくためには、地域の皆様のご協力が必要です。議員のご提案のように、空き屋対策のための募金や寄付金をお願いすることは、地域の皆様が空き家の問題について考えていく一つのきっかけにはなると思います。ただ、こうしたご支援をお願いする前に、まずは空き家の現状把握を行い地域の環境整備や防犯対策について、町民の皆さんと町との協力体制を整えていきたいと考えています。その上で町民の皆様と町が連携して危険な空き家のない安心・安全な町作りを進めていきたいと考えておりますので、ご理解をよろしくをお願いします。

饗庭議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 1番、饗庭簡議員の一般質問を終わります。

議長 8番、横田響議員の一般質問を許可します。

横田議員 はい。8番、横田響です。

議長 8番、横田響議員。

横田議員 益子町に図書館ができる予定ということで、大変うれしく思っています。とても楽しみです。読書をしてどんどん心を豊かにしていこうと思います。図書館内にこんな場所や設備があると夢があると思いました。1つ目は、学習室です。静かな学習室があると、勉強に集中できます。益子町の図書館で勉強することによって、将来の益子町のために学習に励もうという気持ちを高めることができます。また、進学して学校が離れてしまっても、地元の友達と繋がることのできる場所にもなると思いました。2つ目は、Wi-Fi です。フリーのネット環境があると、学校でクラウドベースの chrome ブックを活用

しているのと同じようなことが出来ると思います。学校で学習した内容の復習もできます。調べ物をする事も出来ると思うので、Wi-Fi が使える部屋があるといいなと思いました。3つ目は、読み聞かせスペースです。大人の方に本を読んでもらうと内容が自分にしみこんでくるようです。自分より小さい子に読んであげると、気持ちが通じたような気持ちになります。そんなスペースが欲しいです。また、他の市町の図書館には漫画のコーナーがあるそうです。国語の教科書に手塚治虫先生の漫画が紹介されているように名作漫画と呼ばれる漫画があると勉強になると思いました。他にも、小さな滑り台の上で本を読んだり、シーソーにまたがって本を読んだり、遊具とっしょに本を読むスペースなども夢があると思います。他にも「本を借りるとポイントがたまる制度」や「忙しい人のための24時間本の貸し出しサービス」などがあると、本をもっと身近に感じる事ができ、本をたくさん読むことができると思います。そのことで、益子町未来計画の貸出冊数の数値目標も達成できるのではないかと考えました。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 8番、横田響議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

三田教育長 はい。議長。

議長 三田進教育長。

三田教育長 横田議員のご質問にお答えします。はじめに、益子町では、多くの方にご利用いただける新しい図書館の建設に向けて、昨年度「益子町図書館の基本計画を作る委員会」を立ち上げ、話し合いをしているところです。その参考とするため、小学生や中学生、子育て世代の方など多くの方々にアンケートを実施しています。また、町民の皆さんが「図書館でどんなことがしたいか」などをテーマに自分の思いを語り合う参加型の講習会も併せて実施しました。その中には、横田議員のお考えのように「学習スペース」「ネット環境の充実」「読み聞かせスペース」などを要望する声があり、そうした意見を参考に、委員の皆様と引き続き計画を作っていけるように進めて参ります。次に、漫画コーナーや遊具、ポイント制度、24時間貸出などについてでございますが、それぞれが図書館を身近に感じていただくために役立つアイデアだと思います。ほかの図書館の導入ケースなどを参考にしながら検討していきたいと思っております。図書館建設はましこ未来計画の優先目標であります「住みたいまちをつくる」ための取り組みの一つです。「ゆっくり本を楽しめる図書館」「人と人が繋がる図書館」を目指して、目標達成に向けて取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

横田議員 はい。議長。

議長 8番、横田響議員。

横田議員 ご検討いただきありがとうございます。「人と人がつながる図書館」というテーマに、提案させてください。例えば、交流スペースで、ビブリオバトルの継続的な開催や感染防止のためのアクリル板を掲示板として活用し、広

告やメッセージボードとして使用してはいかがでしょうか。ご検討をよろしくお願いいたします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

永嶋生涯学 はい。議長。

習課長

議長 永嶋祐子生涯学習課長。

永嶋生涯学 益子町では昨年度初めて町民会館ホールでビブリオバトルを開催いたしました。発表する方もそのおすすすめ本に対する熱意が感じられ大変好評でしたので、ぜひ今後も定期的開催をしたいと考えております。また、感染防止のためのアクリル板の活用についてでございますが、アクリル板の設置場所によっては掲示板やメッセージボードとしても有効利用は可能であると考えております。このたびのご提案により、今ある他のものでも利活用ができないかなどを考えていくよい機会ともなりました。議員におかれましては、今後とも図書館へのご支援をよろしくお願いをいたします。

ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

横田議員 8番、横田響議員の一般質問を終わります。

議長 6番、藤田優希菜議員の一般質問を許可します。

議長 はい。6番、藤田優希菜です。

藤田議員 6番、藤田優希菜議員。

議長 益子町には、いちご、かんぴょう、米、麦、にら、こんにゃく芋など特産品がたくさんあります。現状では、それらの材料を生かし、気軽に楽しんでもらう場所が足りないと思います。それらを使った料理（ビルマ汁など）を道の駅に、屋台を出し、楽しんでもらうのはいかがでしょうか。今はコロナウイルス感染症対策で調理実習が行えない状態ですが、学校で料理レシピなどを募りコンクールをして、入賞したレシピを商品化し、屋台で売るというのも、観光で訪れた人たちだけでなく、地元の人たちも楽しめると思います。さらに、レシピを気軽に持ち帰ることができるような場所を設置することで、家に帰ってその料理を作るために、益子町の特産品を買って帰ってもらえるのではないかと考えます。道の駅の中にすてきなレストランがあるのですが、わたしたち子どもにとっては敷居が高いです。ワンコインで気軽に楽しめるような場所があるだけで変わると思います。町としてお考えをお聞かせください。

6番、藤田優希菜議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

議長 はい。議長。

池田産業建

設部長 池田浩之産業建設部長。

議長 藤田議員のご質問にお答えします。益子町には、議員のおっしゃるとおり、

池田産業建 いちごを始めとした特産品があり、広くPRすることが益子町の魅力を高め、
設部長 町の活性化につながるものと考えております。学校で料理レシピを募り、商品化したものを屋台で売るというご提案は、地元の方と町外の方両方の関心

を高め、非常に効果的な広報活動であると考えます。また、道の駅レストランは、確かに子どもたちにとっては、少し敷居が高い場所かもしれませんが、レストラン以外でも気軽にお食事を楽しんでいただくために、毎日ではありませんが、テント販売によるテイクアウト商品を提供しています。道の駅では、オープン以来休日を中心に屋外で各種の催しが行われ、キッチンカーやテントが出て大いに賑わってきました。議員のおっしゃるビルマ汁料理についても、イベントを開催したことがございます。しかしながら、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お客様を集めることを目的とした大規模なイベントを開くことができません。コロナが収まりましたら、再び皆様に楽しんでもらえるようサービスを充実させていきたいと考えております。今回、議員のご提案につきましては、道の駅スタッフ等とも相談をし実現可能なものから実施して参りたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

藤田議員 はい。議長。

議長 6番、藤田優希菜議員。

藤田議員 ご検討いただきありがとうございます。私たちもキッチンカーやテントを利用したことがあります。休日だけでもいいので10か所くらいの場所で行っていただければもっと楽しいと思います。スーパーにあるような食材を利用した料理の提案を生産者の方に教えていただき、ポップにして商品の場所に提示するのはいかがでしょうか。ご検討をよろしくお願いいたします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

大塚農政課 はい。議長。

長

議長 大塚栄農政課長。

大塚農政課 長 ご質問にお答えします。先ほど答弁でも申し上げましたが、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集客を目的とした大規模なイベントはまだ行っておりません。ところが、コロナが最近収束に向かっておりますので、今後は多くの飲食店の出店により賑わいが戻ってくるのではないかと考えております。以前のように芝生広場を使ったイベントを企画して参りたいと思っております。なお、11月20日には道の駅にて、さつまいものイベントを予定しておりますので、ぜひ足を運んでいただければと思います。また、ポップにして商品の場所に提示することについては、道の駅スタッフによる手作りのポップが大変好評であります。今の時期ですと、りんご、かき、さつまいも、落花生などさまざまな手作りのポップを提示しておりますのでぜひご覧になっていただきたいと思っております。陳列する商品も季節で変わりますので、その都度お客様に関心をもっていただけるようなポップ作りに心掛けてまいります。よろしくお願いいたします。

藤田議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 6番、藤田優希菜議員の一般質問を終わります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

藤田議員 はい。議長。

議長 5番、深谷怜寿議員の一般質問を許可します。

深谷議員 はい。5番、深谷怜寿です。

議長 5番、深谷怜寿議員。

深谷議員 益子町には様々なイベントがあり、とても楽しみです。特に、花をメインにしたイベントに参加して楽しく過ごしています。益子町に住んでいる人だけでなく、益子町に観光に訪れた人たちに、益子の花「やまゆり」や、コスモス、ひまわり、菜の花など、益子町に咲くきれいな花々があることを知り、より益子町の魅力に気づいてほしいと思っています。道の駅にコスモスやひまわり、菜の花などの季節の花が見られるフラワーコーナーを設置するのはどうでしょうか。道の駅の利用を目的として訪れた観光客の人たちに、季節に応じて益子町の各場所でそれらの花を一望できるスポットがあることを知らせるきっかけになると思います。一度だけではなく、二回、三回と益子町に来てもらえることで、飲食店やお土産屋さんにも立ち寄ってもらえる機会も増えると思います。また、益子町の花である「やまゆり」をもっと身近で気軽に見に行ける観光名所をつくることも、地元の人や観光で訪れた人が、やまゆりという花に親しんでももらえるきっかけにもなるのではないかと考えました。小学4年生が夏休みに描いているやまゆりの花の絵を、道の駅に展示し、やまゆりの紹介や名所への案内に活用することもできると思います。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 5番、深谷怜寿議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業建設部長 はい。議長。

議長 池田浩之産業建設部長。

池田産業建設部長 深谷議員のご質問にお答えいたします。道の駅を訪れた方々に、益子町の花である「やまゆり」や、コスモス、ひまわりなどを紹介し、町の魅力を発信することは、大変喜ばしいことであると考えています。コスモス、ひまわり、菜の花のイベントは、年々来場者数も増加しており、都会から訪れた人々の心を癒したり、インスタ映えを狙った若い女性からも注目され、益子町の魅力をますます高めていくものだと考えております。議員のおっしゃるとおり、道の駅にフラワーコーナーを設置し、季節の花をみわたすことができるスポットをお知らせすることにより、お客様がリピーターとなる可能性があり、経済効果もあるのではないかと考えます。また、益子町の花である「やまゆり」をもっと身近に、気軽に見に行ける観光名所をつくることは、町の観光にとっても、良いことだと思います。現在、「益子里山の会」という団体があり、会の皆様が毎年10月の終わり頃に、陶芸メッセ益子の芝生広場や林の中にやまゆりの球根を植えてくれています。おかげで、今では多くのやまゆりを陶芸メッセ益子のあちらこちらで見かけることができます。夏休みに皆さんが描いた素晴らしい地域愛のこもったやまゆりの絵が町の活性化につながるよう、道の駅で紹介できるような企画を今後検討して参ります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

深谷議員 はい。議長。

議長 5番、深谷怜寿議員。

深谷議員 ご検討いただきありがとうございます。フラワースポットとても楽しみです。ボランティアなどで参加していきたいと思います。各家庭でも、「種まきボランティア」として各家庭の玄関先も花で飾ることができれば、益子町のイメージアップにもつながると思います。ご検討をお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

永嶋生涯学 はい。議長。

習課長 永嶋祐子生涯学習課長。

議長 町ではひまわりやコスモスなどの大規模な畑農家にフラワーボランティアさんの力をお借りしまして、マリーゴールドやビオラなどを種から苗に育てまして、町内の幼稚園、保育園、公共施設などに配布をし、町を花で飾る活動をしております。それらに加えて、各家庭の玄関先が花で飾られると町はいっそう華やかになると思います。今後は花の町作りに関わっていただく方をさらに増やしまして、議員お考えのように花の町益子のイメージアップにつなげていきたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

永嶋生涯学 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

深谷議員 5番、深谷怜寿議員の一般質問を終わります。

議長 4番、高松郁吹議員の一般質問を許可します。

議長 はい。4番、高松郁吹です。

高松議員 4番、高松郁吹議員。

議長 私たちの住んでいる田野地区には、南運動公園という素晴らしい公園があります。テニスコートや陸上競技場、サッカー場、ロープでできたタワー、長い滑り台、芝広場、素敵な休憩所があります。ただ、小学生や高齢者にもっと優しく楽しい公園にすると、よりよい公園になると思います。南運動公園の遊具はとても充実していて、家族連れで利用している光景も目にします。しかし、私たち子どもの年代によっては、少し物足りなく感じてしまうこともあります。バスケットボールなどもっとたくさんのスポーツができると、より良いと思います。オリンピックの正式種目となったスケートボード場なども欲しいです。また、高齢者や体の不自由な方、障害をお持ちの方、小さい子どもが安心して過ごせると良いと思います。歩道をきれいして段差を少なくしてバリアフリーをすすめてほしいです。また、きれいで安全なトイレやベンチ、日陰の場所の数を増やしてほしいです。町としてのお考えをお聞かせください。

高松議員 4番、高松郁吹議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

議長 はい。議長。

三田教育長 三田進教育長。

議長 高松議員の質問にお答えします。はじめに、現在の南運動公園の遊具につき

三田教育長 ましては、公園ができた当初から設置してあるもので、点検・修理をしながら

ら安全に遊べるようにしております。今後、修理では対応が難しく、新たに設置しなければならない時期がきた際には、広く皆さんの意見を聞いて、どのようなものが良いか検討したいと思います。そのような状況の中で、バスケットボール場やスケートボード場についてですが、現在のスペースを考えると設置は難しい状況です。しかし、バスケットボール場につきましては、総合体育館などの施設では設備がありますので、屋内での利用は可能です。なお、屋外での手軽にゴール練習ができるようなゴール設置につきましては、練習の必要性が高まってきましたら検討して参りたいと考えております。公園のバリアフリーにつきましては、歩道の段差などの危険、不便な箇所について再点検をしたうえでの検討課題とさせていただきたいと思っております。次に、トイレやベンチについては、日頃の点検によりヒビなどの不具合を発見し修繕して、安全性に配慮しているところです。これらを増やすことにつきましては、今後の利用の状況により検討して参りたいと思っております。また、日陰についてでございますが、園内には木を植えることによる日陰や、休憩所でもある建物の日陰があります。特に木を植えることによる自然の日陰は涼しく気持ちがいいものです。これを大きく成長させ、心地いい日陰の面積を増やしていきたいと考えております。今後も小さい子から高齢者まで安全に過ごせる公園であるよう努力していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

高松議員 はい。議長。

議長 4番、高松郁吹議員。

高松議員 バリアフリーやトイレなど検討していただきありがとうございます。様々なスポーツについて総合体育館などの施設の活用というご説明でしたが、田野地区に住む私たち小学生にとっては、距離が遠く感じます。ぜひ、ご検討いただきたいです。また、日陰は木を植えて自然の日陰をとということでしたが、十分に森林はございますので、ベンチや屋根などの人工物との調和をお願いしたいと思います。ご検討をよろしくおねがいします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

永嶋生涯学 はい。議長。

習課長

議長 永嶋祐子生涯学習課長。

永嶋生涯学 まず、田野地区の施設としましては、農業改善センターに多目的ホールという部屋がありまして、そこには体育設備があります。そちらは総合体育館と同様にご利用がいただけます。小学生の皆様には保護者同伴でのご利用となりますので、そちらで利用していただきバスケットボールなどのスポーツを楽しんでいただけたらと思います。また、南運動公園のベンチや屋根などの人工物の設置につきましては、適切な設置位置や議員お考えのように周囲との調和が必要となります。それらを考慮しまして公園内の各エリアごとの必要性を見極めて検討をしていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたし

ます。

高松議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 4番、高松郁吹議員の一般質問を終わります。

議長 3番、片岡日葵議員の一般質問を許可します。

片岡議員 はい。3番、片岡日葵です。

議長 3番、片岡日葵議員。

片岡議員 私たちの地区に道の駅ましこができました。たくさんの観光客の方々が訪れ、活気が出てきています。益子町の窓口として道の駅があり、コンシェルジュがいることなどを知りました。ただ、道の駅の周辺に広大な土地があります。もっともっと発展できると思います。私たち、地元の人にも楽しめるスペースにすることで、もっとよりよいものとなるのではないのでしょうか。益子焼体験とコラボすることで相乗効果がうまれるのではと感じました。また、バードウォッチング場や遊具、もっとたくさんの動物とのふれあいができる広場などを設けることで広がりが生まれると考えました。私たちが育てた作物や作品を出品したり、益子町の良いところマップを地元の小中学生が紹介する地図を掲示することで独自性がでると思います。入口で益子の歴史や特色を伝える動画をデジタルサイネージで提示することで益子町のアピールにもなると思います。地元の人にも愛される道の駅にしていきたいです。ぜひ、道の駅ましこを盛り上げていきたいです。町としての考えを聞かせてください。

議長 3番、片岡日葵議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

池田産業建設部長 はい。議長。

池田産業建設部長 池田浩之産業建設部長。

議長 片岡議員のご質問にお答えします。道の駅ましこは、平成28年10月のオープン以来、約360万人という多くのお客様にご来場いただき、また、益子町の南の玄関口として情報発信の役割を果たしてきたのではないかと考えております。議員がおっしゃるように、道の駅の周辺には広大な土地がありますが、これらのほとんどが農地であり、米や麦、いちごなどの農作物の生産が盛んであり、益子の農業を支えている地域でもあります。また、道の駅の芝生広場から眺める田園風景も来場者には好評で、今では人気スポットの一つとなっております。このように、道の駅ましこは、周辺の自然景観との調和が一体となって、より一層その存在価値が深まるものと感じております。今回の議員の様々なご提案につきましては、風景との調和や安全性、地域の個性などに配慮しながら、今後検討して参りたいと考えております。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

片岡議員 はい。議長。

議長 3番、片岡日葵議員。

片岡議員 ご検討ありがとうございます。私たちには見慣れた田園風景も自然景観として人気だということはとても驚きました。調和が大切だということも理解しました。わたしたち田野地区の住民としては、道の駅ましこにもっと発展してほしいという気持ちを持っています。周りの山など飛び地を確保して、先

程の提案事項を実現してはいただけないでしょうか。ご検討よろしくおねがいします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

大塚農政課 はい。議長。

長

議長 大塚栄農政課長。

大塚農政課 質問にお答えします。道の駅ましこは今年で開業五周年を迎え、この間多くのお客様や地域の方々に支えられながら成長し、今ではこの地区はもとより益子を代表する観光スポットとなっております。田野地区周辺には、この道の駅ましこ以外にもコスモスやひまわりの花畑や大郷戸ダム、長堤八幡宮、光明寺のしだれ桜、前沢町有林など地域資源がたくさんあります。小中学生が紹介する益子町のよいところマップを活用しながら周遊ツアーを組んでみるのもおもしろいのではないのでしょうか。道の駅ましこは、自然景観が豊かな場所にありますので、道の駅を起点にありのままの自然を生かした地域の見所スポットを巡ってみることも十分に楽しめると思いますのでご理解をお願いいたします。

片岡議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 3番、片岡日葵議員の一般質問を終わります。

議長 2番、上野大貴議員の一般質問を許可します。

上野議員 はい。2番、上野大貴です。

議長 2番、上野大貴議員。

上野議員 防災について質問します。現在、益子町のホームページには益子町防災マップが掲載されています。田野小学校の南側にも、砂防ダムができ、安心して学校生活を過ごしています。私自身、家の人と益子町防災マップを見ながら確認をして災害に備えています。ですが、子ども一人で益子町防災マップを見ると、漢字や表現が難しく、大人と一緒にないと正しく見ることはできません。親しみやすいマークやイラストを使って、子どもが見ても分かりやすい防災マップを小学生が作り、公共施設や小学校に配布することで、小さい子どもにも「防災」を身近に感じてもらえ、大人だけでなく子どもたちの防災意識も高まると思いました。また、音声で案内してくれる施設（信号）や、スマホのアプリを導入することで更に利便性が高まると思います。益子町周辺の天災等の警戒情報、防犯等が分かる情報を統括しているアプリがあると更に安全を実感できます。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 2番、上野大貴議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

日下田総務 はい。議長。

部長

議長 日下田純総務部長。

日下田総務 上野議員のご質問にお答えします。はじめに、小学生による防災マップの作成につきましては、防災マップを作成することで小学生の皆さんの防災意識も高まり、危険個所の確認にもなるかと思えます。また、誰もが分かりやす

い防災マップを作成頂ければ、小学校への配布等を検討したいと思います。
つづきまして、スマートフォンのアプリにつきましては、今年度より町の防災行政無線や国の災害情報Jアラートの音声を聞くことができるアプリを導入しました。防災行政無線が聞こえにくいご家庭へも情報を伝えることができます。また、避難所が開いているかどうかや混雑の状況をパソコンやスマートフォンで確認できる「バカン」というシステムも導入しております。しかしながら、現在、災害や防犯などすべての情報を一つのアプリで表示できるものはありませんので、今後検討していきたいと考えております。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

上野議員 はい。議長。

議長 2番、上野大貴議員。

上野議員 ご検討いただきありがとうございます。「バカン」というシステムを知っている人が僕たちの周りにあまりいなかったので広めていきたいと思います。僕の家周りにも橋やブロック塀が崩れそうな場所、山崩れが起きそうな場所があるので、防災マップを作るときには、私たちの目線で作成していきますので、ぜひご検討ください。提案させてください。町で、防災、防犯に関するイベントを開催してはいかがでしょうか。例えば、町のゴミ拾いをしながら防災や防犯に関する場所を見て回ることや、町で保管している非常食も消費期限もあるでしょうから、それを各家庭に配布することで、非常食というものがどんなものなのか知ってもらい防災意識を高めていくことはいかがでしょうか。よろしくお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

高濱総務課 はい。議長。

長

議長 高濱文夫総務課長。

高濱総務課 再質問にお答えいたします。議員のイベントを開催し、危険箇所の把握、非常食の配布による防災意識の向上を図るご提案ですが、参考にさせていただきたいと思います。なお、防災に関しましては益子町防災訓練という行事が整っております。この防災訓練は、大地震や大雨などによる災害が発生したと仮定し、役場の職員や消防団員の方々、自治会など地域の方々が行う訓練でございます。内容は、避難所を開設したり、自治会長さんや班長さんが近所の方々の安否を確認して報告したり、指定した避難所に実際に避難をしていただくなどの訓練でございます。その時に、防災訓練の終了後に参加していただいた地域の方々に非常食なども配布を行っています。ただ、残念ながらここ2年はコロナの影響で開催できないのが現状でございます。今後は、コロナの状況にもよりますが、訓練の仕方を変えたり、また議員のご提案などを参考に、子どもからお年寄りまで多くの方々が防災意識をもっていたけように努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

上野議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 2番、上野大貴議員の一般質問を終わります。

議長 大塚朋之町長より総括的答弁をいただきます。

大塚町長 はい。議長。

議長 大塚朋之町長。

大塚町長 議員の皆さん、大変お疲れさまでした。本物の議場での質問は、いかがでしたでしょうか。今日この場で質問するまでに、皆さんは友だちや先生、家族の方々と話し合ったり、様々なことを調べたり考えたりと、多くの時間を費やしてくれたことと思います。そうした、万全の準備が裏付けとなって、今日の皆さんの質問をする姿が大変立派なものでありました。それから、傍聴の皆さんの姿も私の方からよく見えますので、拝見していましたけれども、非常に同級生が質問する姿、そのやりとりをしっかりと立派な態度で聞いてくれました。すごくいい授業を普段されているんだろうなということが分かりました。益子町をより良くしていくことを考え質問していただき今日は大変うれしく思いましたし、心から敬意を表します。さて私からも全体を通して感じたことをお話しさせていただきます。まず饗庭議員の質問は、町の計画をしっかりと調べ、課題も明確でした。『空き家バンク』についてですが、登録件数が93となっております。その中で成約件数66。成約率は7割を超えるということですから、益子の空き家バンクは非常に人気があると捉えられます。特に、最近道の駅のコンシェルジュの方に聞きましたら、益子の里山の自然の中にあるような古い家を買いたい、そういうものが欲しいという方がたくさんおみえなんです。今後の課題はそういう家の所有者にいかに登録していただくかということです。登録をしていただければその家は売れる可能性が高いので、そういった事に知恵を絞りたいと考えています。横田議員からは、『新しい図書館』について、学習室やWi-Fiなど数多くの提案をいただきました。その後の再質問も含めこれだけのアイデアを出せるという事は、普段から読書や図書館についての関心が高いんだろうなということを感じました。これからもぜひ力を貸していただきたいと思います。藤田議員からは『道の駅』に関する質問でした。お陰様で「道の駅ましこ」は全国的に見ても人気の道の駅になりましたが、さらに魅力を高めるには藤田議員の視点は重要です。今日の話をも道の駅のスタッフにも提案して伝えて参ります。深谷議員からは『益子フラワーパーク計画』という夢のある提案をいただきました。実は、田野地区にある前沢町有林というのを皆さんご存じでしょうか。道の駅からもちょうど正面に見える所です。後で、先生やご家族に教わってください。ここには実は、何千本もの桜の木、山桜というものなのでちょっと成長が遅いのですが、これが植えられているんですね。将来ここが桜の山になるというような可能性を求めて、今、町民の皆さんと一緒に活動しています。イノシシ等の問題もあるのですが、みんなで町花であるやまゆりを観られるようにして、将来田野地区に花の名所をつくるということも可能かもしれませんので、今後も検討いたしたいと思います。高松議員の『ふれあい公園の設立』については、小学生の視点で高齢者まで安心して使うことのできる「優しく楽しい公園」の提案でした。今あるものを工夫してより

良いものにしていく、ということは非常に大切な視点でありまして、それを再認識させていただきました。片岡議員の『道の駅の発展』ですが、「道の駅ましこ」は「地域の小さな拠点」という役割もあります。これから田野小学校の皆さんの力を貸してもらえると、より地元の人たちにも愛される道の駅になるんだろうなということを感じました。道の駅については藤田議員、それから深谷議員からも質問、提案等をいただいていますので、もし将来田野小学校の日みたいものをつくり、この日は田野小学校の子どもたちが自分たちで考えてお客さんにいろいろな提案をするというようなことが実現できたらすごく楽しくなるだろうなあというようなことも感じさせてもらいました。上野議員の『安心安全な益子町』についての提案ですが、日頃から「防災マップ」を確認する防災意識の高さが素晴らしいと感じました。これからの時代はデジタル技術の活用は必須です。「やってみる」という事は、非常に大切なことですので「小学生の、小学生による防災マップ」が作れたら素晴らしいなあと思っております。防災訓練についても小学生の皆さんが参加できるようなことがないということは、今後も検討を重ねていきたいと思っておりますので、実現した際にはぜひ皆さんにご参加いただきたいと思っております。さて、皆さんが生まれた12年前は、花のまちづくりや土祭などの事業がようやくできるようになった年でありました。しかし、それまでの数年間はとにかく我慢の連続だったんです。皆さんから、いろいろな提案をいただいても、申し訳ないけれど今の町にはお金がないのでできませんの一点張りでした。皆さんが生まれたばかりは、そういう益子でした。しかし、2000年代初めの日本は「三位一体の改革」という中で地方の財政は、かなりの緊縮を求められました。益子町の貯金も底を尽きかけたこともありました。国際競争の中で益子町のリーディングカンパニーである「ペンタックス」が撤退を余儀なくされたときでもありました。当時、益子町行政は七井地区の区画整理や北公園の整備を行っている最中でしたが、それで精一杯。それ以外の新規事業はすべて凍結というような状況でありました。でも、そういう中、益子町の皆さんのお父さん、お母さん、地域の人たちは、あきらめることなく、そういう状況を打開すべく頑張りました。役場の職員も、議員の皆さんもしばらくの間、報酬や給与をカット。町民の皆さんにも役場窓口の負担増を受け入れてもらいました。それから、町民がみんなで汗を流して益子町のお金をつくらうというようなことで、ごみの分別、今紙ごみをみんなきっちりと分別してもらっていますけれども、そういうごみの分別をすると町のお金は実は少し浮くのです。健康づくりをして医療費を削減したり、そういうことをみんなでやりました。大勢の町民の皆さんが『協働』の精神で益子のために汗を流してくれました。その結果、12年前は実は道の駅、計画すらできませんでした。しかし、今日は12年前、皆さんが生まれたときに計画すらできなかった「道の駅ましこ」の質問をこうして受けました。図書館についても、夢のまた夢。町長つくってよという話は聞きましたが、これも夢のまた夢の話でした。今日は横田議員からご質問を受けましたけれど、12年前

は思いもよらなかつたことでありました。子供たちの医療費も、当時は小学校3年生まで無料だったものが、中学校3年生まで無料化できるようになりましたし、デマンドタクシーや子育て応援制度やスポーツ教室など、皆の努力で色んな事業ができるようになりました。今日は皆さんからいろいろな質問や提案をしてもらいましたが、済んでいること、できないことあるかもしれませんが、皆の思いというものは、いろいろな形で実現していくことをこれからも注視していただきたいと思います。未来は創ることが出来る。町は、みんなが協力すれば、より良いものになる。皆さんは、そんな12年間の歩みとともに成長されてきました。そして、なぜそんなことが12年間の中で出来たのかということを考えてみると、そのベースにあったのは今日、饗庭議員の再質問にあった「僕は、益子町が好きです。」という「町を愛する心」が、たくさんの町民の中にあつたことが一番大きかつたと思っております。かつて、栃木県を代表する政治家で、今はお亡くなりになりましたが副総理まで務めた渡辺美智雄さんという方がおります。当時は大蔵大臣、今の財務大臣時代に残した言葉があります。「予算は有限、欲望は無限。財政再建というのは心の再建に他ならない。」これから先、皆さんが人生を歩まれる中で困難に直面することもあると思います。家族が困っている時は家族を愛する心。地域が困っている時は地域を愛する心。町が困っている時は町を愛する心。国が困っている時は国を愛する心。そして、これから地球温暖化等の問題がでてきますが、地球が困っている時は地球を愛する心。そういう清く優しい心を持ちながら、皆さんが大いに活躍されることを祈念しております。本日は、大変貴重な意見をありがとうございました。行政に関する一般質問を終わります。

議長
議長

日程第4、子ども議会宣言についての件を議題といたします。この件につきましては、子ども議会議員全員から、子ども議会宣言の申し出がありました。子ども議会議員においては「このまちに生まれ、育つたことが私たちの誇りです」と、声を大にして言えるまちづくりを目指し、次のことを宣言します。一．私たちは、まちのため、地域のため、家族のためにできることを日々実践していきます。二．私たちは、このまちを思い愛する心、思いやりの心の輪を広げていきます。三．私たちは、まちの将来を考え、最大の関心をもって生活していきます。

確認いたします。本件につきましては、申し出の通り、子ども議会宣言をすることに、ご異議ありませんか。

議員
議長
議長

異議なし

異議なしを認めます。よって、子ども議会宣言とすることに決しました。これをもって、令和3年度益子町子ども議会を閉会するところですが、この場をお借りし、子ども議会を代表してお礼と感謝の言葉を申し述べさせていただきます。

ただきます。このたび、私たちは「子ども議会議員として行政に参画し、政策提言をする」という、貴重な経験をさせていただくことができました。本物の議場で、仲間と共有した緊張感は、私たちを一回りも二回りも成長させてくれたような気がしています。また、私たちの知らないところで、実に多くの人たちがこのまちを支えてくださっていることも実感することができました。子ども議会への参画を機に、私たちの「まちへの思い、このまちに暮らす人への思い」は、より大きく強く、そして優しくなれました。このような素晴らしい体験をさせていただけましたこと、そして私たちをご指導くださいましたすべての皆様に心から感謝申し上げます、令和3年度益子町子ども議会を閉会いたします。

これより、国旗、町旗に対して敬礼を行います。傍聴の方もお願いいたします。礼。おなおりください。

－ 閉会 15時56分 －

[署名]

令和 年 月 日

議長

署名議員

署名議員
